

| 分野                  | 授業科目   | 単位(時間) | 進度   | 担当             |
|---------------------|--|--------|------|----------------|
| 専門基礎分野              | 公衆衛生学  | 1 (15) | 2年前期 | 原田幸一<br>実務経験あり |
| 科目目的                | 地域・学校・職場さらに地球環境における人集団の健康の保持・増進のための組織的な保健活動を理解し説明できる。  |        |      |                |
| 科目目標                | 1. 公衆衛生学の概念と基本的な理念等を理解する。<br>2. 健康が環境や生活習慣等と深く関連していること等を理解する。<br>3. 各種制度の現状と課題、今後の方向等について理解する。 |        |      |                |
| 単元名                 | 教育内容   | 時間     | 教育方法 | 留意点            |
| 序章 公衆衛生を学ぶにあたって     | みんなの健康、看護をみんなで守ること等を講義する。  |        |      |                |
| 第1章 公衆衛生のエッセンス      | 健康の定義、公衆衛生の歴史、公衆衛生を看護に取り込む力等を講義する。   | 2      |      |                |
| 第2章 公衆衛生の活動対象       | 公衆衛生活動と対象社会集団の関係等を講義する。  |        |      |                |
| 第3章 公衆衛生のしくみ        | 公衆衛生関連する法規、行政組織、専門職そして住民等について講義する。   | 2      |      |                |
| 第4章 集団の健康をとらえるための手法 | 人集団の健康を科学する手法である疫学・保健統計等を講義する。   |        |      |                |
| 第5章 環境と健康           | 地球環境と健康、生活環境と健康、環境行政等を講義する。  | 2      |      |                |
| 第6章 感染症とその予防対策      | 感染症予防対策、院内感染症、重要な感染症等を講義する。  | 2      | 講義   |                |
| 第7章 国際保健            | 健康格差、国際共通目標、日本の関わり等を講義する。  |        |      |                |
| 第8章 地域における公衆衛生の実践   | 公衆衛生看護、母子保健、成人保健、高齢者保健等を講義する。<br>精神保健、歯科保健、障害者保健、難病保健等を講義する。                                   | 2      |      |                |
| 第9章 学校と健康           | 学校保健、養護教諭等を講義する。   | 2      |      |                |
| 第10章 職場と健康          | 労働安全衛生法、職場の健康管理、産業保健の課題等を講義する。   |        |      |                |
| 第11章 健康危機管理・災害保健    | 健康危機管理、災害保健等を講義する。   | 2      |      |                |
| まとめと試験              |  | 1      |      |                |
| テキスト／その他の教材         | 系統別看護学講座「公衆衛生」(医学書院)   |        |      |                |
| 評価方法                | 筆記試験 100点で評価する。  |        |      |                |